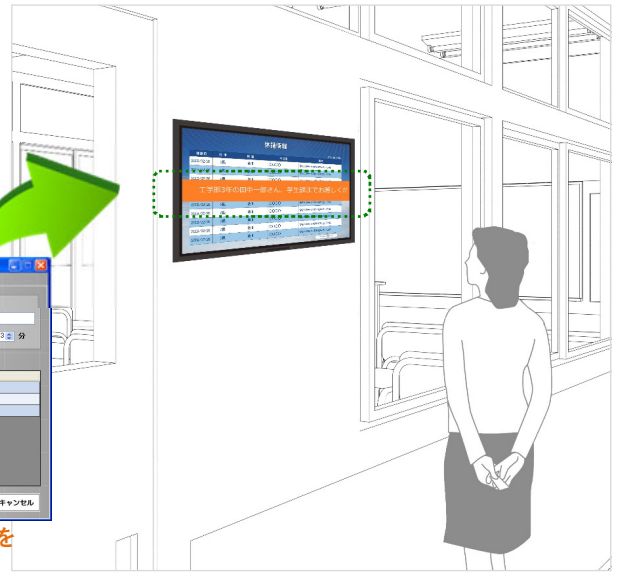


ショッピングセンターにて



学校の教室前にて



テキストを入力して配信先を選ぶだけの簡単操作

館内放送だと聞き逃してしまいがちな迷子のお知らせやタイムセール情報などを文字が流れるテロップで表示。通常の表示の上にも流れるため、アイキャッチ効果も抜群です。

広い学校内では放送が聞こえにくい場所も。校内のデジタルサイネージに緊急テロップで学生の呼び出しや災害時の非難呼びかけなど表示することで、放送が聞こえにくい状況でも効率的に情報伝達が行えます。

特長

テロップ情報入力

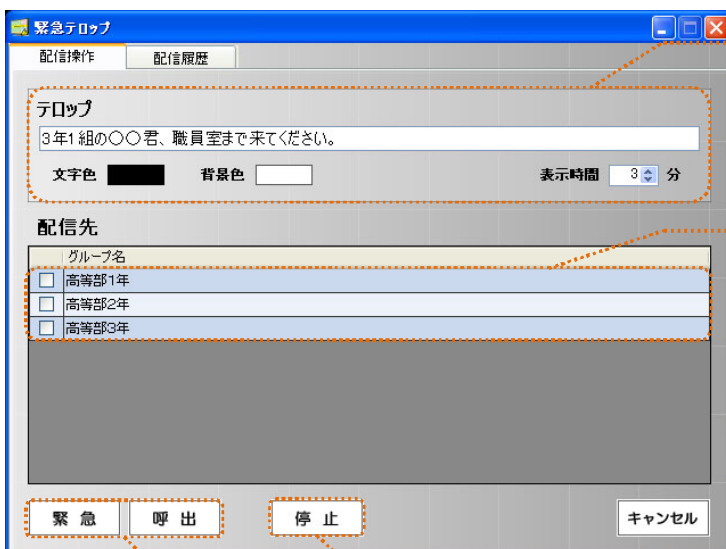
表示したいテロップの「テキスト」「文字色」「背景色」およびテロップを表示する「表示時間」を指定します。「表示時間」は【呼出】でテロップ表示した場合のみ有効で、【緊急】の場合は【停止】ボタンを押下するまでテロップが表示されます。

配信先の選択

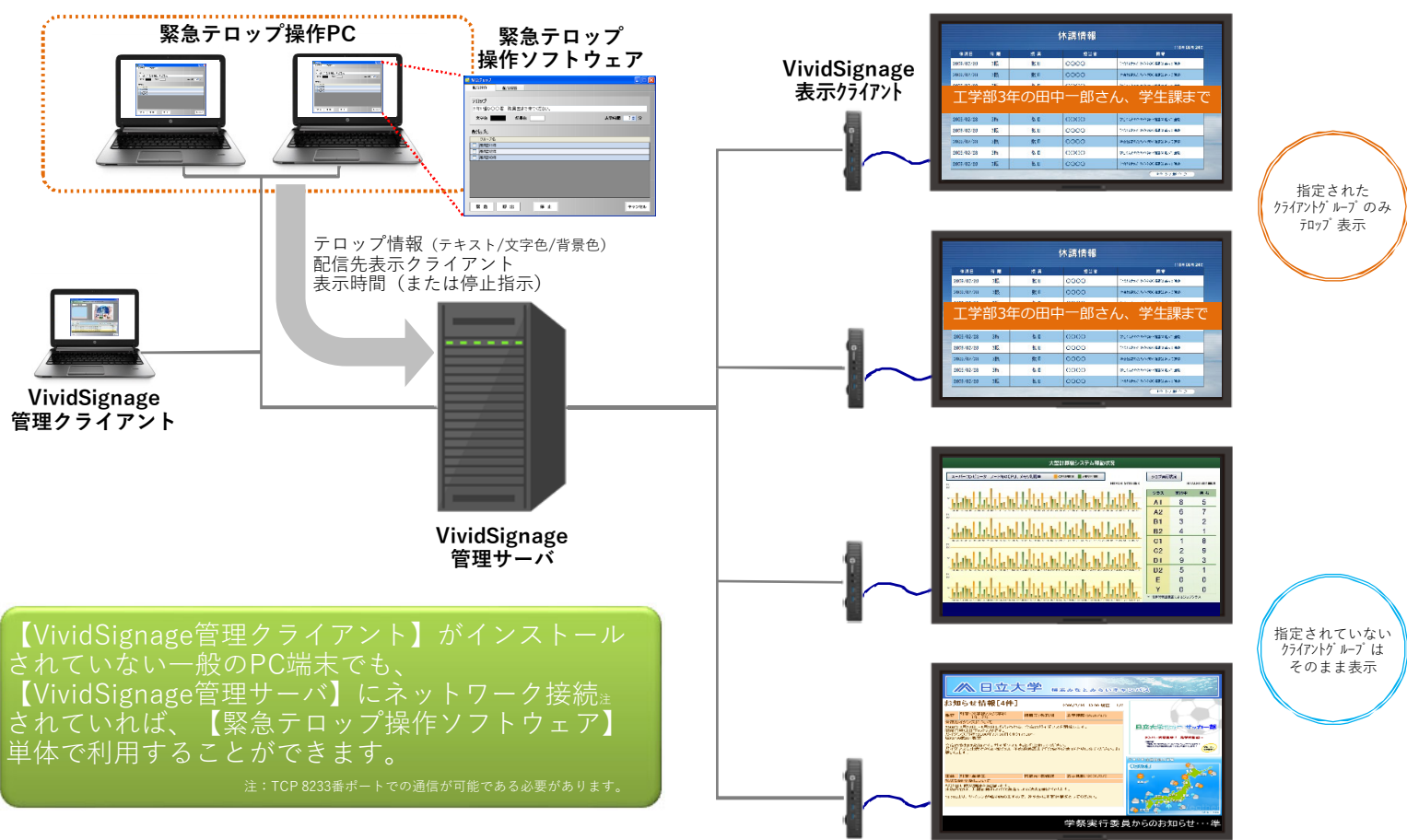
VividSignageで登録されている表示クライアントのグループが自動で表示されます。緊急テロップを表示したいクライアントグループのチェックボックスをチェックします。(複数選択可)

緊急テロップの配信・停止

設定されたテロップ情報を指定された配信先に配信します。
 【緊急】で配信した場合は、【停止】ボタンを押下するまでテロップが表示され、他の緊急テロップ配信も受け付けられません。
 【呼出】で配信した場合は、設定された表示時間でテロップ表示が終了します。また、表示中に他の緊急テロップ配信が発生した場合、その緊急テロップ情報に表示が切り替わります。



システム構成



【VividSignage管理クライアント】がインストールされていない一般のPC端末でも、【VividSignage管理サーバ】にネットワーク接続[※]されていれば、【緊急テロップ操作ソフトウェア】単体で利用することができます。

注：TCP 8233ポートでの通信が可能である必要があります。

動作環境

	緊急テロップ操作PC	表示クライアントPC
OS	Windows 7 (32bit/64bit) Windows 8.1 (64bit) Windows 10 (64bit)	Windows 7 (32bit/64bit) Windows 8.1 (64bit) Windows 10 (64bit)
CPU	Core 2 Duo 2.2ギガヘルツ(GHz)以上 (Windows 7、Windows 8.1) 1ギガヘルツ(GHz)以上 (Windows 10)	
メモリ	2GB以上	
ストレージ	HDD 1GB以上 + コンテンツ格納領域	